

標記会社ノ争議ニ因シテ人既取ノ処其後ノ状況尤ノ通

記

一 事業主側

本会社側ニ於テハ従業員ノ一部が被解雇者ニ同情シ寄
宿舍ニ起居シテ罷業ヲ継続シ居ルヲ以テ之等ニ對シ
就業ヲ勧告スヘク十二月八日付ヲ以テ別記(一)ノ如キ
通知状ヲ發シ極力切崩シニ努ムル所アリシガ罷業、就
業員ノ態度意外ニ強硬ニシテ就業者ナク会社ニ於テ
モ創業早々ニシテ諸設備不完全従業員ノ待遇ニ關レ
テモ相商考慮スヘキ餘地アルヲ認メ本件解決モ公平
ナル第三者ノ調停ヲ求ムルコト、シ十二月十二日午
後爰甲支配人ハ當廳調停課ヘ出頭シ本争議ノ調停方

ヲ依頼セリ

二 労働者側

被解雇者側ニ於テハ山梨縣出身先輩ヲ物色シ交渉ヲ
開始シタルモ意ノ如クナラズ又罷業就業員側ニ於テ
モ適當ノ指導者ナク徒ラニ事態ノ推移ヲ待ツノミノ
状態ナリシガ十二月十二日会社ニ於テ調停方ヲ當廳調停課
ニ依頼シタルヲ以テ之レニ応スルコト、セリ

三 交渉並調停状況

調停課ニ於テハ十二月十四日勞資代表者ヲ招致シ會
社側爰甲支配人中島調査課長、従業員側佐藤信隆外四
名出頭調停課員三會ノ上交渉、結果別記(二)ノ如ク會
社側ニ於テ被解雇者中、伊藤天野、古屋佐藤ノ四名